

# 最近の耐候試験

\*斉藤 貴志

従来から耐候試験は規格に定められている70×150mmなどの大きさの試験片が多く用いられていますが、一方、最近では製品完成品を丸ごと試験するニーズも増えています。これは最終製品の形で試験することで、欠陥発

生箇所の特定や想定外の劣化などを見極め、その対策を講じ、製品の信頼性向上を図ろうとするものです。ますます高まる消費者の品質ニーズに応えるために、考案された最近の耐候試験機から、2例をご紹介します。

## 1. 耐光試験装置

大型の試験槽内に、昇降装置付試料台車を入れ、試料台上に設置した大型の試料を、照射試験することができます。

光源には、4kWメタリングランプを3灯用い、試料位置の放射照度を制御し、また試料面位置におけるブラックパネル温度も対話式タッチパネルコントローラで直接制御します。メタリングランプは、スライド式で引出せる構造となっており、ランプ、フィルタの交換作業が容易です。



本体

制御盤

光源	4kWメタリングランプ 3灯
試験条件	照射試験 ブラックパネル温度63℃ 槽内温度42℃以下 〔放射照度1500W/m <sup>2</sup> (295~450nm)に於いて〕

試料寸法(最大)	幅 60 × 奥行 40 × 高さ 50cm
試験槽寸法	幅120 × 奥行100 × 高さ140cm
本体外形寸法	幅155 × 奥行220 × 高さ180cm
制御盤寸法	幅 90 × 奥行120 × 高さ187cm

## 2. 2.5kWキセノンフェードメーター

水平皿仕様試料回転枠のキセノンフェードメーターです。化粧ビンやペットボトル等の容器を水平皿上に乗せ、容器や内容物の劣化試験ができます。

毎分3回転の速度でキセノンランプの周囲を回転し、更に、水平皿の自動回転機構により、容器の周囲を均一に照射することができます。別途、傾斜型ホルダタイプの化粧ビン取付け用もあります。

光源	2.5kW水冷式キセノンランプ 1灯
試験の種類	照射試験/暗黒試験 明暗サイクル試験
試験槽温度・湿度	25±1℃ 50±5%rh (照射試験時) 38±1℃ 95±5%rh (暗黒試験時)
放射照度設定範囲	約40~80W/m <sup>2</sup> (300~400nm)で自動制御
試料ホルダ(水平皿)	φ10cm 9個



試験槽内

\*詳細は、仕様書・図面をご確認いただきますようお願いいたします。

\*日高・川越工場 製造部耐候課 課長